

旅館・民宿・民泊 宿

- 1 松代屋(旅館) 57-3022
- 2 大吉(民宿) 57-2595
- 3 下丁子屋(民泊) 090-3956-1868
- 4 下嵯峨屋(民宿) 57-3124
- 5 波奈屋(旅館) 57-3106
- 6 まるや(民宿) 57-3117
- 7 つたむらや(民宿) 57-3235
- 8 かめやま(民宿) 57-3187
- 9 こおしんづか(民宿) 57-3029

味わい所 味

- 10 やまざり(五平餅) 57-3134
- 11 俵屋里久(そば) 57-2522
- 12 糸びや(甘味処) 57-3054
- 13 藤乙(郷土料理) 57-3009
- 14 鈴屋(甘味処) 57-3891
- 15 わちのや(おやき) 090-1458-7496
- 16 しんや(五平餅) 57-3221
- 17 音吉(山家料理) 57-3600
- 18 金剛屋(そば) 57-3116
- 19 木ノ花屋(五平餅) 57-3228
- 20 白木屋(喫茶) 050-5373-5379
- 21 おもて(五平餅) 57-2682
- 22 好日珈琲(喫茶) 24-0287
- 23 中華そば 三殿社中 080-7838-3608
- 24 こづちや(喫茶) 57-3175

お土産・木工製品 品

- 25 田丸屋 57-3275
- 26 岩井屋 57-3008
- 27 永徳屋 57-3010
- 28 伊勢屋 57-3112
- 29 新岩井屋 57-3538
- 30 丸田屋 57-3434

- 31 寺下丁子屋 57-2327
- 32 みはらや 57-4053
- 33 丁兼(澤田屋) 57-4105
- 34 あぶらや 57-3178
- 35 新まきの 57-3020
- 36 いんきよ 57-2131
- 37 色吉 57-4510

その他 他

- 38 郷原酒店 57-3021
- 39 松下商店(食料品) 57-3041
- 40 尾張屋(OBARAJUN) 090-7319-0222
- 41 奥ジャパン 24-0636
- 42 和(なごみ)~きもの~ 24-0573

バス・タクシー

- おんたけ交通(バス) 57-2346
- 南木曾観光タクシー 57-3133

駐車場

バス	2,000円
マイク	1,500円
乗用車	500円
二輪車	200円

※駐車料金は保存事業に活用されています

- 中央駐車場 57-2581
- 町営第1駐車場(バス) 57-3883
- 町営第2駐車場 57-3885
- 町営第3駐車場 57-4032

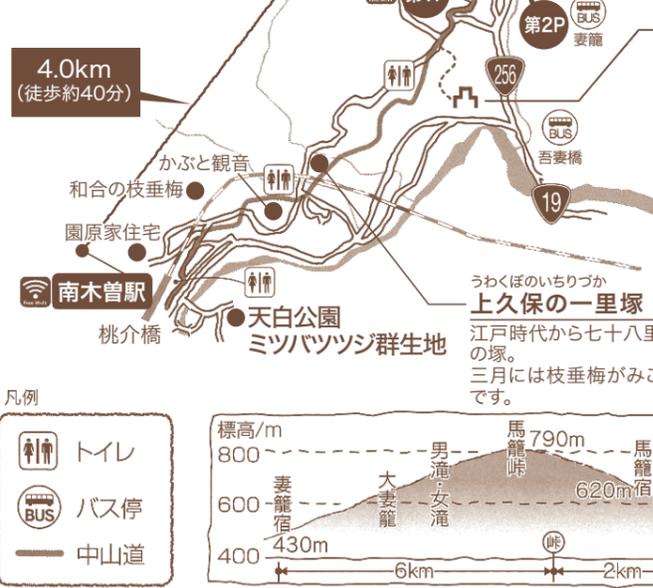
~木曾路はすべて山の中である~
中山道ハイキングコース
国指定史跡(信濃路自然歩道)

木曾の自然に抱かれて
中山道を歩く(信濃路自然歩道)
目的と時間にあわせてハイキング
昔の旅人の気持ちになって中山道を歩いてみませんか。

馬籠~妻籠
ハイキングコース
お元気コース(徒歩2.5時間~3時間)
全長9Kmゆっくり3時間かけて歩いてみましょう。
馬籠~馬籠峠は急な短い坂(2.5km)
妻籠~馬籠峠はゆるやかな長い坂(6.5km)
省エネコース(徒歩2時間)
馬籠(妻籠)から峠までバスかタクシーで行って、下り坂のみ歩いてみましょう。
峠~妻籠はゆるやかなスロープをゆっくり下って2時間。

完歩証明書
楽しい旅の記念に是非どうぞ
妻籠宿、馬籠宿各案内所にて、中山道完歩証明書1枚300円で販売。また、各宿泊施設にて妻籠⇄馬籠ハイキング券をお受け取りになり、観光案内所(馬籠・妻籠のどちらでも)にお持ち頂くと、150円でのお求めいただけます。

手荷物運搬サービス
身軽になって歴史の道を歩きましょう
【受付期間】3月20日~11月30日まで毎日
【受付時間】午前8時30分~11時30分
【到着時間】午後1時
【料 金】手荷物一個につき1,000円
【取扱所】●妻籠観光案内所 TEL.0264-57-3123
●大妻籠の荷物は各宿で受付
●馬籠宿観光案内所 TEL.0573-69-2336
※運行、臨時便についてはお問い合わせください。



妻籠~南木曾駅~天白公園
ハイキングコース
季節を楽しむ(徒歩1.0時間)
妻籠から中山道を歩きましょう。
歴史の橋「桃介橋」を渡りきるとそこはこのハイキングの終点「ミツバツツジ」大乱舞!
(4月上旬~中旬)

スマホを使って
南木曾を聞き歩き!
アプリインストール不要
QRコードを読み込んで始めよう
利用無料

準備が整った昔の旅人の気持ちで歩いてみよう

2.0km (徒歩約60分) 馬籠宿

2.5km (徒歩約50分) 馬籠峠

いちこくとちてばちやや
一石橋立場茶屋 無料休憩所
江戸中期の茶屋。湯茶のサービスがあります。
しらかあらためばんしょあと
白木改番所跡
寛延2年(1749年)から明治2年まで、「木曾五木」(ひのき・さわら・あすなる・こうやまき・ねずこ)をはじめとする伐採禁止木を取り締まる番所がありました。

こやすかんのん
子安観音
昔からこの村付近に住む者は難産しないとされており、信仰の対象として子安観音が祀られている。

おたき・めたき
男滝・女滝
吉川英治の「宮本武蔵」の舞台となった滝です。また、滝壺に金の鶏が舞い込んだという倉科様伝説が伝わっています。

くらしなそれいしゃ
倉科祖霊社
天正14年(1586年)、松本城主 小笠原貞慶の重臣倉科七郎左衛門朝軌は、この辺りで地元の土豪たちに襲われ、従者30余人とともに全滅させられ、その霊を祀っています。
この社は倉科の霊を鎮めるために祀ったものです

つまごじょうあと
妻籠城跡(長野県史跡)
戦国時代より木曾の南の押さえとして重要であった。小牧・長久手の戦いの折、徳川軍に対して難攻不落を誇ったと言われていた。
木曾五木を使った地元工芸品

安全対策の熊よけの鈴
妻籠・馬籠観光案内所で貸し出しをしています

妻籠宿のまつり
和智塾神社祭礼
【七月二十三日~二十四日】
妻籠宿の鎮守様の祭り。
御神輿が「げー」にもさよな「さよな、さよな」の掛け声で威勢良く宿場内を練り歩きます。

ひなまつり【二月下旬~四月三日】
端午の節句【四月中旬~六月五日】
七夕まつり【七月下旬~八月七日】
妻籠宿内ふれあい館に於いて、季節ごとに風情ある催しが楽しめます。

文化文政風俗絵巻之行列
【十月二十三日】
150名前後の人々が、宿場役人・武士・浪人・鳥追い女・無宿・早駕籠・自明し・飛脚・虚無僧・女旅・男旅などに扮して、文化文政時代に中山道を歩いたであろう旅人の姿を再現します。



重要伝統的建造物群保存地区
妻籠宿案内図
中山道つまごじょうくあんないず



歴史の面影を残す宿場町

江戸と京を結ぶ中山道は、山深い木曾路を通ることから木曾街道とも呼ばれていました。中山道六十九次のうち江戸から数えて四十二番目となる妻籠宿は、中山道と伊那街道が交叉する交通の要衝として古くから賑わいをみせていました。



町並み保存の原点

お問い合わせ

一般社団法人 南木曾町観光協会 (妻籠観光案内所)

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2196-1
TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036
TEL 0264-57-3123(観光案内専用)

(一社)南木曾町観光協会ホームページアドレス
<https://nagiso.jp/>

妻籠観光協会ホームページアドレス
<https://tsumago.jp/>

南木曾町ホームページアドレス
<http://www.town.nagiso.nagano.jp/>



妻籠宿

町並み保存運動

明治になり鉄道や道路が木曾川沿いに造られ、宿場としての機能を失った妻籠宿は衰退の一途をたどり、やがて昭和四十年代になり集落保存と景観が修復され、妻籠宿の町並みが見直されました。妻籠の人たちは町並みを守るために家や土地を「売らない・貸さない・こわさない」を中心とする住民憲章をつくり、ここで生活しながら、江戸時代の町並みという貴重な財産を後世に伝えていきます。

てらしたのまちなみ
寺下の町並み
日本で最初に宿場保存事業が行われた寺下地区は、妻籠宿保存の原点とも言うべき町並みです。

高札場 こうさつば
今日でいう「官報掲示板」で、幕府が庶民に対し、禁制や法度等を示したものです。

くちどめばんしょあと
口留番所跡
17世紀半ばまで関所が置かれていました。

つまごしゆくほんじん
妻籠宿本陣 (南木曾町博物館)
妻籠宿本陣には島崎氏が任命され、明治に至るまで本陣、庄屋を兼ね務めました。島崎藤村の母の生家で、次兄広助が養子にきています。平成7年4月に復原されました。

光徳寺 こうとくし
石垣を築き、白壁をめぐらせた気品ある寺で、明応9年(1500年)に開山されたと言われています。

えんめいじそう
延命地藏
文化10年(1813年)、光徳寺住職・中外和尚が、地藏尊像の浮かび上がっている岩を蘭川(あらさがわ)から運んできて安置したものです。



せきぶつ「かんざんしつとく」そう
石仏「寒山拾得」像
国内唯一とされる、石仏「寒山拾得」像。石に掘られた双体像は他に類例がない。

長野県天然記念物 **ぎんもくせい**
神官・矢崎氏の庭木として、代々愛育されてきた巨木です。(県宝)

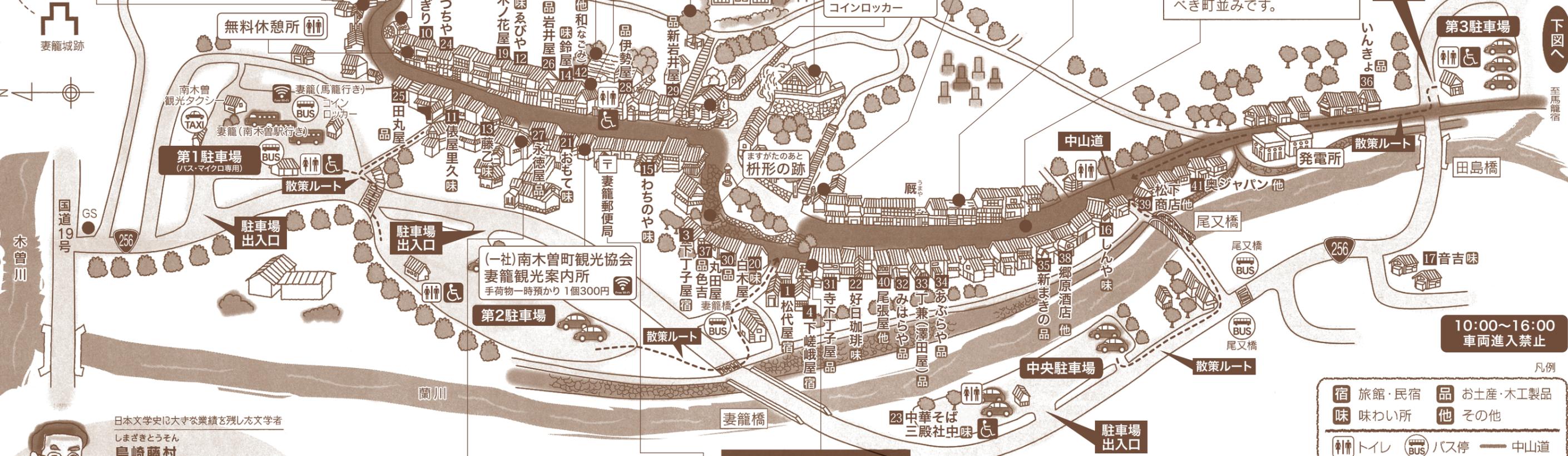
くまがけしゅうたく
熊谷家住宅
19世紀初頭に建てられた長屋の一部。左右の半分ずつが一軒の家として使用されていました。

水車小屋
味こづちや 24
味やまぎり 10
味木ノ花屋 10
味えびや 12
品岩井屋 26
他和なご 42
味鈴屋 14
品伊勢屋 28
品新岩井屋 29

和智竺神社
妻籠町並み交流センター
(公財) 妻籠を愛する会
コインロッカー

かみさかや
上嵯峨屋
昭和44年の解体復元によって18世紀中期の木賃宿(きちんやど)であることがわかりました。

10:00~16:00
車両進入禁止



日本文学史上大きな業績を残した文学者
しまざきとうそん
島崎藤村
浪漫派詩人として『若菜集』などを刊行。さらに小説家として、『破戒』『春』などで代表的な自然主義作家となった。ほかに、日本自然主義文学の到達点とされる『家』、父をモデルとした歴史小説『夜明け前』など。

つまごしゆくあんないにん 妻籠宿案内人

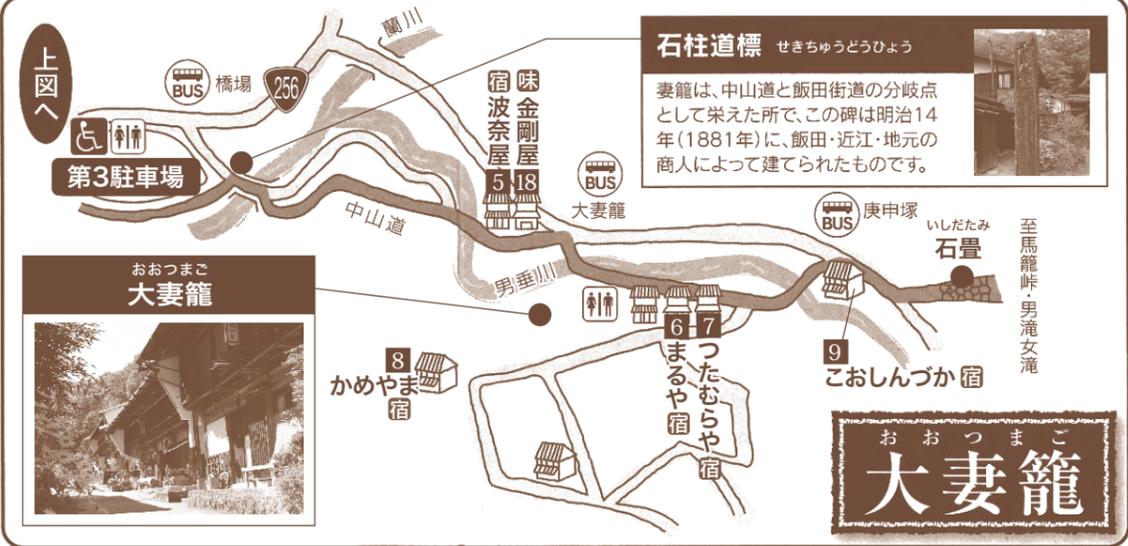
【ガイド料】案内人1人につき2,000円
◆お問い合わせのうえ御利用ください。
【申し込み先】
(公財)妻籠を愛する会内、妻籠宿案内人の会
Tel, Fax. 0264(57)3513
※原則として10日前までに
お申し込み下さい。

わきほんしんおくや
脇本陣奥谷
代々脇本陣・問屋を務めた家で、現在の建物は明治10年に建て替えたものです。また、島崎藤村の初恋の人と言われる「ゆふ」さんの嫁ぎ先でもあります。国の「重要文化財」に指定されています。歴史資料館では、南木曾町や木曾路の歴史、町並み保存運動、全国の重要伝統的建造物群保存地区の町並みなどの資料を模型や映像を用いて分かりやすく展示しています。



しもさかや
下嵯峨屋
当初、長屋であったものです。妻籠宿における庶民の住居を代表する形式をとどめています。

ゆうびんしりょうかん
郵便史料館 (妻籠郵便局に併設)
島崎藤村『夜明け前』にも開局当時の様子が描かれています。郵便に関する資料の展示があります。(土・日・祝休館)



せきちゆうどうひょう
石柱道標
妻籠は、中山道と飯田街道の分岐点として栄えた所で、この碑は明治14年(1881年)に、飯田・近江・地元の商人によって建てられたものです。

おおつまご 大妻籠

南木曾町博物館
TEL. 0264-57-3322

【妻籠宿本陣】
大人・300円 小人・150円
【脇本陣奥谷・歴史資料館】
大人・600円 小人・300円
【共通券】 大人・700円 小人・350円
開館時間/9:00~17:00(16:45入館制限)
休館日/毎月第2・4木曜日
年末年始(12/29~1/3)